令和7年度　3年次生　学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 （コマ数）	4単位 4（コマ）	履修年次	3年次
科目名	地理探究	履修	選択	開講	通年
教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副教材	新詳地理資料COMPLETE2024（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）、大学入学共通テスト対策チェック＆演習地理−地理総合、地理探究（数研出版）		

1　学習の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2　学習の方法

①授業

教科書・プリント・資料集・地図帳・問題集を用いて、板書・説明をしながら、多くの発問を取り入れ、知識・定着度を確認しながら進めていきます。

②授業に使用するもの

教科書・プリント・資料集・地図帳・問題集・クロームブック

3　評価について

①評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

②評価の方法

材料 観点	定期考査	問題集	プリント	グループワーク	評価方法
知識・技能	○	○	○		定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現	○	○	○	○	定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	プリントやグループワーク、課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。

4　その他

授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。

5　単元の目標・評価

単元名	第1部　第1章　自然環境					
単元の目標	場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、自然環境に関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、自然環境に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。		地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	

単元名	第1部　第2章　資源と産業					
単元の目標	場所や空間的相互依存作用などに関わる視点に着目して、資源、産業に関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、資源、産業に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。		資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	

単元名	第1部　第3章　交通・通信と観光、貿易					
単元の目標	場所や空間的相互依存作用などに関わる視点に着目して、交通・通信、観光に関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、交通・通信，観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。		交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。		交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	

単元名	第1部　第4章　人口、村落・都市					
単元の目標	場所や空間的相互依存作用などに関わる視点に着目して、人口、都市・村落に関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、人口、都市・村落に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

単元名	第1部　第5章　生活文化、民族・宗教					
単元の目標	場所や空間的相互依存作用などに関わる視点に着目して、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

単元名	第2部　第2章　現代世界の諸地域					
単元の目標	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、現代世界の諸地域や地球的課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、区分した諸地域に見られる地域的特色や地球的課題、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法を理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。	現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

単元名	第3部　第1章　持続可能な国土像の探究					
単元の目標	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、現代世界におけるこれからの日本の国土像を多面的・多角的に探究し、表現する力を育成するとともに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。	現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。	持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。

6　　年間計画

学期	月	単元		項目	時予数定	考査
前期	4 5 6	第1部 現代世界の系統地理的考察	第1章　自然環境 第2章　資源と産業	1節　地形 2節　気候 3節　日本の自然環境 4節　地球環境問題 1節　農林水産業 2節　食料問題 3節　エネルギー・鉱産資源	31	前期中間考査
前期	7 8		第3章　交通・通信と観光、貿易 第4章　人口、村落・都市	4節　資源・エネルギー問題 5節　工業 6節　第3次産業 1節　交通・通信 2節　観光 3節　貿易と経済圏 1節　人口 2節　人口問題 3節　村落と都市 4節　都市・居住問題	30	前期期末考査
後期	9 10 11	第2部 現代世界の地誌的考察	第5章　生活文化、民族・宗教 第2章　現代世界の諸地域	1節　衣食住 2節　民族・宗教と民族問題 3節　国家の領域と領土問題 1節　中国 2節　韓国 3節　ASEAN諸国 4節　インド 5節　西アジアと中央アジア 6節　北アフリカとサハラ以南アフリカ 7節　EU諸国 8節　ロシア 9節　アメリカ合衆国	44	後期中間考査
後期	12	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像	第1章　持続可能な国土像の探究	10節　ラテンアメリカ 11節　オセアニア 1節　将来の国土の在り方 2節　持続可能な日本の国土像の探究	15	
後期	1 2 3					